

U-Cable type P5

ユーザーズマニュアル 通信編

目次

WindowsXPでインターネットに接続する	
インターネットに接続する	1
WindowsMe/98でインターネットに接続する	
ダイヤルアップネットワークの確認	10
ネットワーク構成ファイルをインストールする	11
ダイヤルアップネットワークをインストールする	15
ダイヤルアップネットワークを登録する	18
IPパケットサイズの変更(契約コースが「ネット25」又は「つなぎ放題コース」の方) ..	24
接続方法	26
Windows2000でインターネットに接続する	
インターネットに接続する	28
Macintoshでインターネットに接続する	
インターネットに接続する	38
トラブル対処法	
トラブル対処法	46

正しく安全にお使いいただくために、ご利用の
前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

AirH ”専用料金コース(つなぎ放題コース・ネット25) ご利用上のご注意

アクセスポイント番号の設定を 必ずご確認ください！

つなぎ放題コース・ネット25は、それぞれ「専用の通信方式」で、「専用のアクセスポイント」に接続した場合のデータ通信料金が無料通信分の対象となる料金コースです。

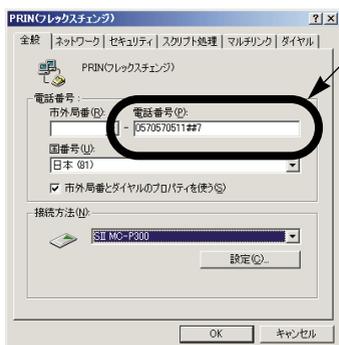
専用の通信方式以外（例：64kPIAFS）でデータ通信を行った場合、基本料金とは別に通信料金が発生し、ご請求金額が高額になる恐れがあります。

通信方式の設定の際はかならず、接続先・通信方式をご確認の上、正しく接続していただきますようお願い致します。

< 料金コースと専用通信方式 >

ご利用の料金コース	通信方式の名称	接続方法 (アクセスポイント番号の後に)
つなぎ放題コース	32kパケット方式	##61
ネット25	フレックスチェンジ方式	##7

WindowsMeでの設定例



ここに、各通信方式専用のプロバイダアクセス番号 + ##n（上記）を入力してください。

例) DDIポケットのインターネット接続サービス「PRIN」の場合

- ・つなぎ放題コース（32kパケット方式）
0570570611##61
- ・ネット25（フレックスチェンジ方式）
0570570511##7

ご利用のプロバイダごとにアクセスポイント番号は異なりますので、各プロバイダにご利用の料金コースに応じたアクセスポイント番号をご確認ください。

WindowsXPでインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

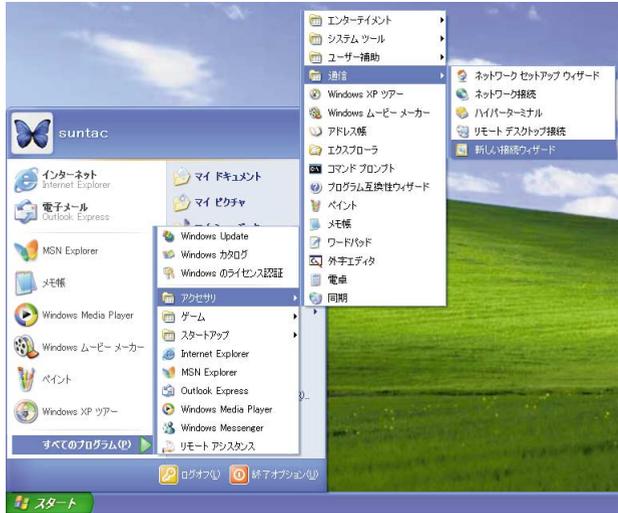
- 1 ネームサーバー（DNS）のIP アドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

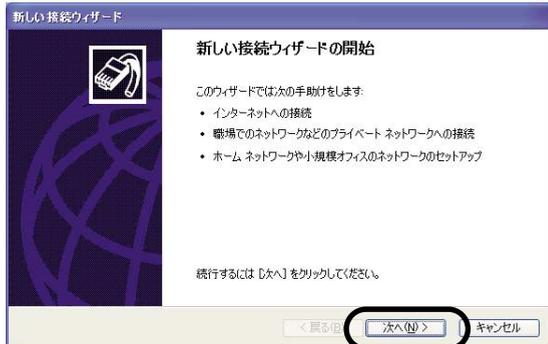
プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

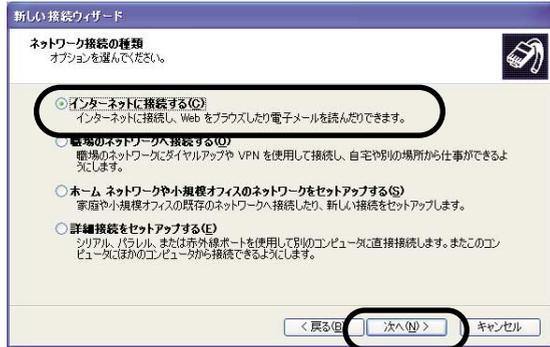
- 1 「スタート」の「すべてのプログラム」の「アクセサリ」の「通信」の「新しい接続ウィザード」をクリックします。



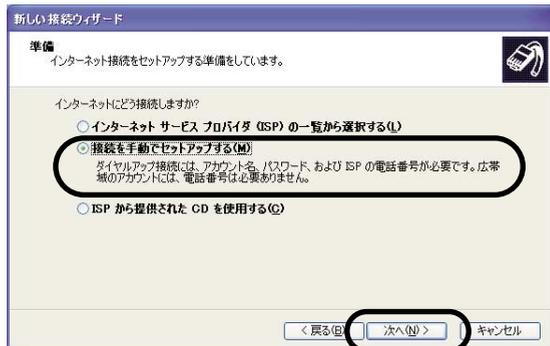
- 2 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックします。



- 3 「ネットワーク接続の種類」では、「インターネットに接続する」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。



- 4 「準備」では、インターネットの接続設定をどのようにして行うかを選択します。ここでは、手動で設定する方法をご説明しますので「接続を手動でセットアップする」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。



5 インターネットへの接続方法を選択します。

H”(AirH”対応)端末を使用して通信する場合、プロバイダのアクセスポイントに電話をかけて通信を行いますので「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」にチェックをして、[次へ]ボタンをクリックします。

6 「接続名」では、これから作成する接続設定に名前をつけます。

「ISP名(A)」の入力欄に接続先プロバイダ名など分かりやすい名前を入力し [次へ] ボタンをクリックします。(例では「接続」という名前を入力しました。)

7 アクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「- (ハイフン)」を入れずに続けて入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##n を加えてください。

32kパケット の場合：XXXXXXXXXX ##61

(「つなぎ放題コース」をご利用の方)

フレックスチェンジ の場合：XXXXXXXXXX ##7

(「ネット25」をご利用の方)

32kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##3

64kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##4または
XXXXXXXXXXXX

ただし、PTE 経由で64kPIAFS の通信を行う場合は、
電話番号の頭に1695 ##4 * を加えてください。

1695 ##4 * XXX_ XXX_ XXXX

入力が完了したら [次へ] ボタンをクリックします。



- 8 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。
 (「パスワード」は画面上ではすべて「*」で表示されます。)
 各チェックボックスは、必要に応じて設定を変更してください。入力が完了したら [次へ] ボタンをクリックします。

- 9 新しい接続に必要な情報の入力が完了しました。
 「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックをつけると、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。
 (ショートカットを作りたい場合はチェックをしてください。)
 [完了] ボタンをクリックします。

接続方法

- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、データ通信モードになっていることを確認します。

Panasonic KX-HV200では、以下の様に設定します。



「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定値が「115200bps」であること。データ通信設定が「OFF」になっていると、通信が出来ません。

- 2 [スタート]の[接続]をクリックし、先ほど作成した接続設定をクリックします。



- 3 [ダイヤル] ボタンをクリックするとダイヤルを開始します。



プロパティの変更が必要な場合、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、「OK」をクリックしてプロパティを閉じてください。

(一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。)

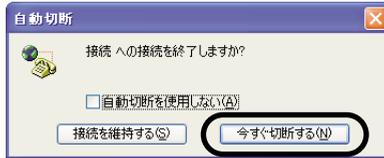
設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。

- 4 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は「今すぐ切断する」をクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して「切断」ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

WindowsMe/98でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークの確認

WindowsMe/98に必要なソフトがインストールされていることを確認します。
以下の手順でおこなってください。

- 1 「スタートボタン」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
- 2 「コントロールパネル」が開きます。「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 3 「ネットワーク」設定画面が開きます。「現在のネットワーク構成」で「Microsoft ネットワーククライアント」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」がインストールされていることを確認してください。



- 4 すべてインストールされている場合は9ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。インストールされていないファイルがある場合は、この画面から次ページの説明を参照してインストールしてください。

ネットワーク構成ファイルをインストールする

Microsoftネットワーククライアントをインストールする

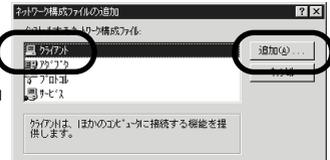
「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされている場合は、次ページ「ダイヤルアップアダプタをインストールする」に進んでください。



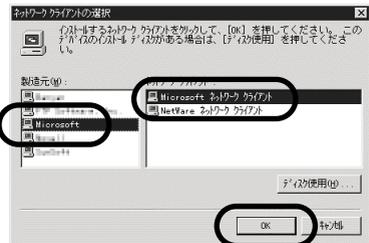
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



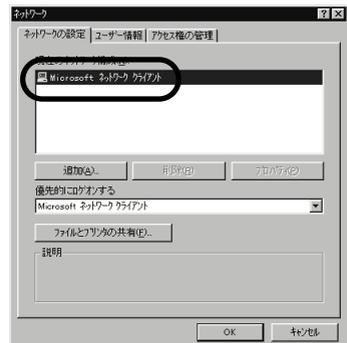
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「クライアント」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワーククライアントの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「Microsoft ネットワーククライアント」から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



ダイヤルアップアダプタをインストールする

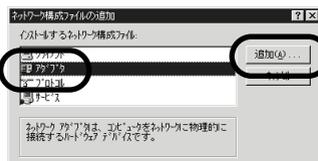
「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされている場合は、次ページ「TCP/IPをインストールする」に進んでください。



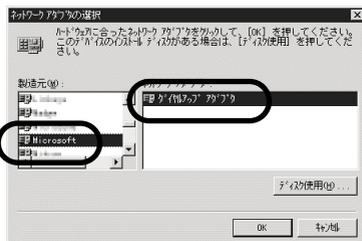
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



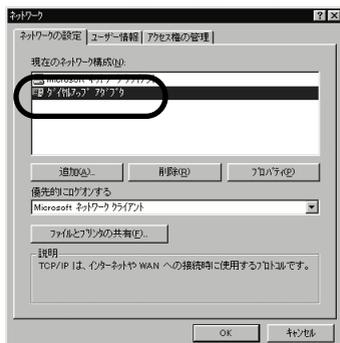
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「アダプタ」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークアダプタの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



TCP/IPをインストールする

「TCP/IP」がインストールされている場合は、次ページ「新しいネットワーク設定を有効にする」に進んでください。



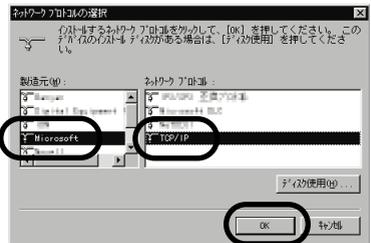
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



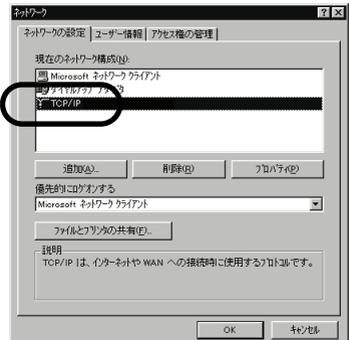
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークプロトコル」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

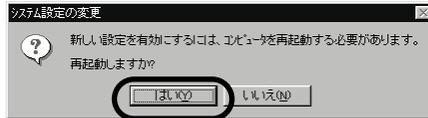


- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「TCP/IP」が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。



新しいネットワーク設定を有効にする

「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



WindowsMe/98でインターネットに接続する

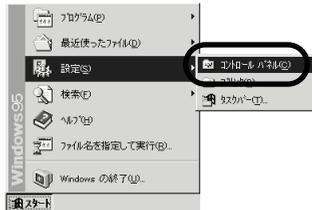
ダイヤルアップネットワークをインストールする

WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」の中に「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンがあることを確認してください。
Windows98の場合は「マイコンピュータ」の中に「ダイヤルアップネットワーク」があることを確認してください。「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが確認できれば、すでにインストールされている状態です。9ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。



「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが存在しない場合は、以下の手順で「ダイヤルアップネットワーク」のインストールをおこなってください。

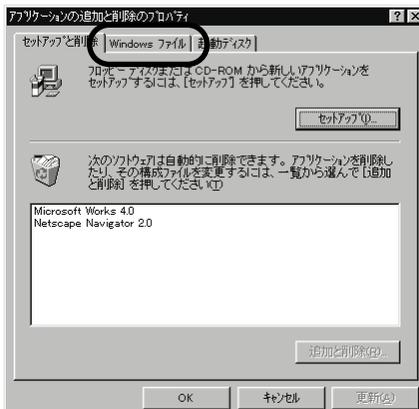
- 1 「スタートボタン」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。



- 2 コントロールパネルが開きます。「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。



- 3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が開きます。「Windowsファイル」タブをクリックしてください。



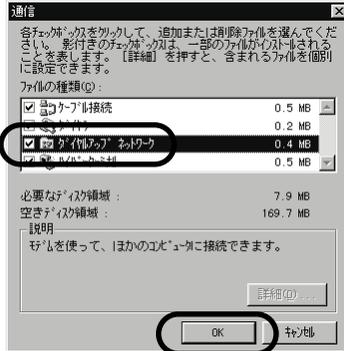
- 4 「Windowsファイル」のページが最前面に出ます。「ファイルの種類」から「通信」にチェックを付けて、「詳細」ボタンをクリックしてください。

「通信」にすでにチェックが付いている場合は、チェックボックスをクリックしないでください。チェックマークが消されたまま「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了すると、「通信」が削除されます。



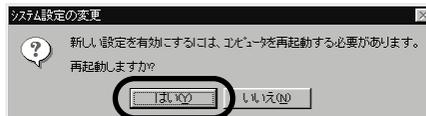
- 5 「通信」画面が開きます。「ダイヤルアップネットワーク」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックしてください。

チェックボックスをクリックせず単に「ダイヤルアップネットワーク」を選択しただけだったり、チェックボックスを2回クリックしたりした場合は、チェックボックスにはチェックマークは付きません。必ず「ダイヤルアップネットワーク」チェックボックスにチェックが付けられていることを確認してください。



WindowsMe/98のマスタディスクが必要になる場合があります。各種設定を問い合わせできますので、情報を入力してください。

- 6 「ファイルのコピー」ダイアログが開き、ダイヤルアップネットワークのインストールが開始されます。
- 7 終了すると、「システム設定が変更されました」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか？」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID） パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

プロバイダの登録

- 1 WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。
Windows98の場合は「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。

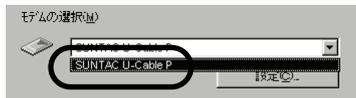


- 3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。



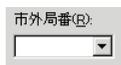
- 4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「SUNTAC U-Cable P」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。



- 6 「市外局番」は空白にしておいてください。



- 7 「電話番号」に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号（例：XXX-XXX-XXXX）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃nを加えてください

32kパケットの場合：XXXXXXXXXX ##61

フレックスチェンジの場合：XXXXXXXXXX ##7

32kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##3

64kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##4

ただし、PTE経由で64kPIAFSの通信を行う場合は、電話番号の頭に1695 ##4*を加えてください。

1695 ##4 *XXXXXXXXXX

電話番号☞
XXXXXXXXXX##X

- 8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本（81）」を選択してください。

国番号(☺)
日本 (81)
日本 (81)
仏領アゼル諸島 (590)
仏領キアア (594)
仏領ポリネシア (689)
米国 (1)
米国領ワージン諸島 (1)

- 9 「次へ」ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。



- 10 「完了」ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

プロバイダの設定

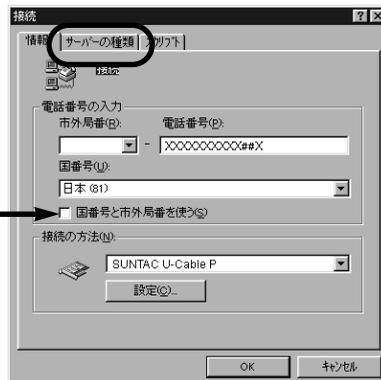
登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

- 1 新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。



- 3 接続先の情報設定画面が開きます。「国番号と市外局番を使う」のチェックを外し、「サーバーの種類」タブまたは「ネットワーク」タブをクリックしてください。

チェックをはずす



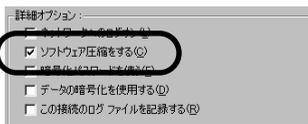
- 4 「サーバーの種類」または「ネットワーク」の設定画面が表示されます。



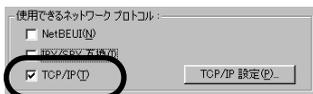
- 5 「サーバーの種類」プルダウンメニューの中から Windows Meでお使いの場合は「PPP:インターネット、Windows2000/NT、WindowsMe」を、Windows98でお使いの場合は「PPP:インターネット、WindowsNT Server、Windows98」を選択してください。



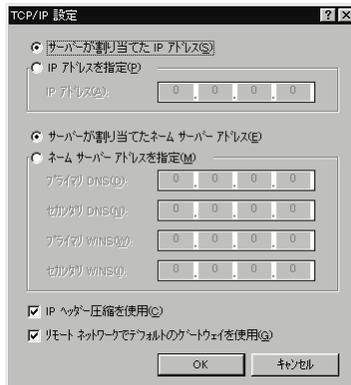
- 6 「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。



- 7 「使用できるネットワークプロトコル」の中から「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。



- 8 「TCP/IP設定」ボタンをクリックしてください。
「TCP/IP設定」画面が表示されます。



- 9 IPアドレスは、「サーバーが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。

サーバーが割り当てた IP アドレス(S)

- 10 ネームサーバアドレスは、「ネームサーバアドレスを指定」にチェックを付けてください。

ネームサーバアドレスを指定(M)

- 11 「プライマリDNS」入力欄にプロバイダから通知されたネームサーバー（DNS）のIPアドレスを入力してください。



- 12 「OK」ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。ここで登録した接続のアイコンができています。

以上で、ダイヤルアップネットワークのインストールは完了です。

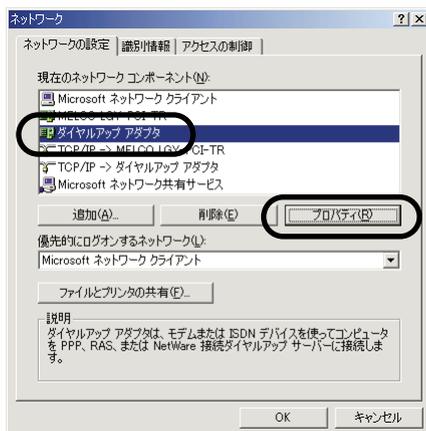
⚠ 注意

「ネット25 (フレックスチェンジ方式)」、または「つなぎ放題コース (32kパケット方式)」を契約している場合、IPパケットサイズの設定変更が必要となります。

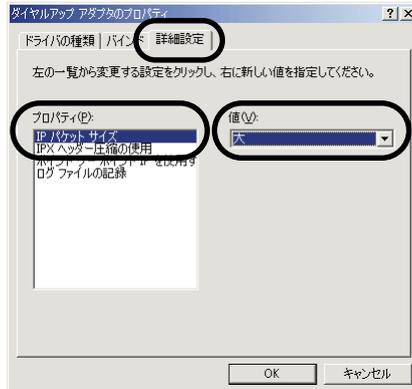


参考 契約コースが「ネット25」又は「つなぎ放題コース」ではない方は、設定を変更する必要はありません。

- 1 変更完了時にパソコンの再起動が必要になりますので、開いているアプリケーションをすべて終了してください。
- 2 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の [ネットワーク] をダブルクリックします。
- 3 [ネットワーク] の画面が開きますので、「ダイヤルアップアダプタ」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 4 「ダイヤルアップアダプタのプロパティ」の画面がひらきますので、「詳細設定」タブをクリックします。
「プロパティ」内の「IPパケットサイズ」をクリックし、「値(V)」を「大」に設定し、「OK」をクリックします。



- 5 [ネットワーク]の画面に戻りますので、「OK」をクリックします。
パソコンを再起動するかの確認画面が表示されますので、「再起動」をクリックして下さい。

以上で設定は終了です。

- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、データ通信モードになっていることを確認します。

Panasonic KX-HV200では、以下の様に設定します。



「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定値が「115200bps」であること。データ通信設定が「OFF」になっていると、通信が出来ません。

- 2 先程の設定で作成したアイコン（接続など）をダブルクリックしてください。



- 3 接続先のダイアログボックスが表示されます。



- 4 「ユーザー名」に接続先のプロバイダの接続アカウント（ログイン名）を入力してください。



- 5 「パスワード」に接続先のプロバイダのパスワードを入力してください。



- 6 「接続」ボタンをクリックしてください。接続が開始されます。

- 7 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。



参考ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。

切断

回線を切断する場合は、タスクバーのアイコンをダブルクリックします。



表示された画面の「切断」ボタンをクリックしてください。



重要 通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

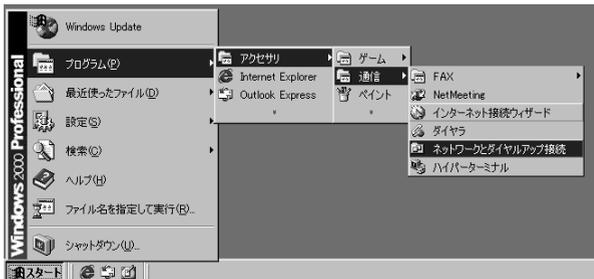
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

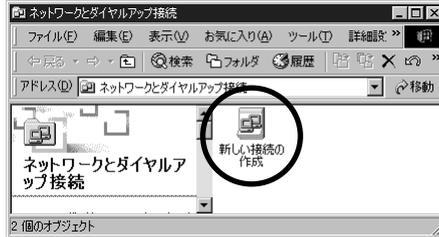
プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

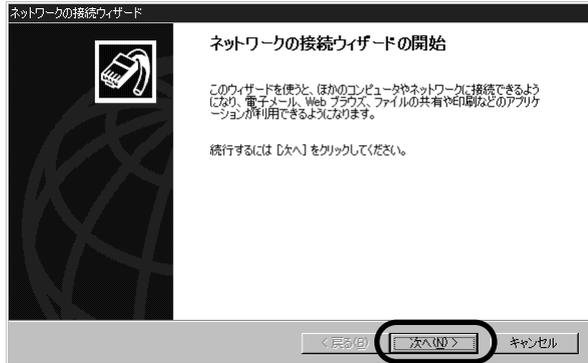
- 1 「スタートボタン」 - 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「通信」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



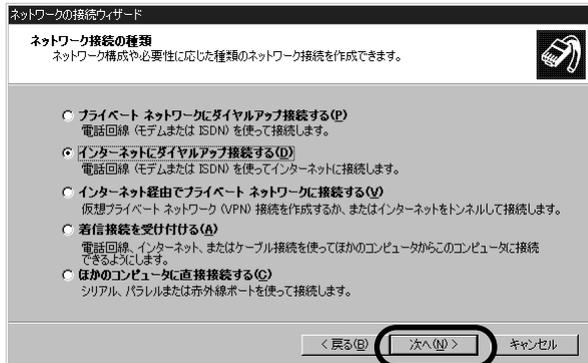
2 「新しい接続の作成」をダブルクリックしてください。



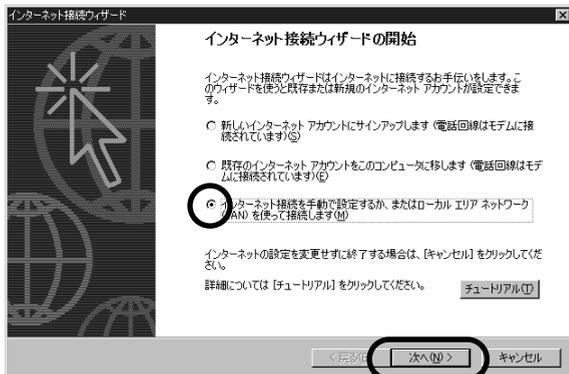
3 「ネットワークの接続ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックしてください。



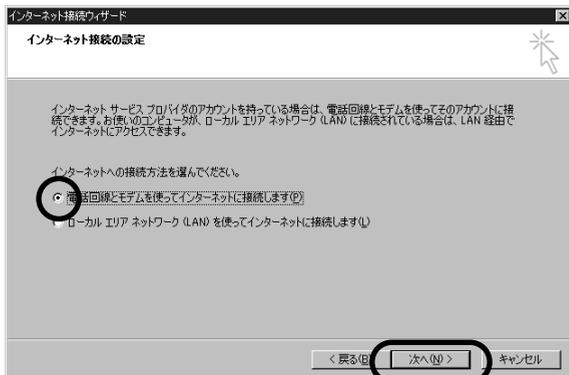
4 「インターネットにダイヤルアップする」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



- 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



- 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



7 モデムの選択で「SUNTAC U-Cable P」を選択します。



8 「電話番号」に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号（例：XXX-XXX-XXXX）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##nを加えてください。

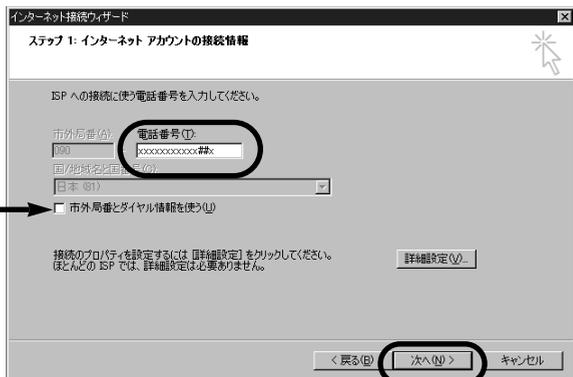
32kパケットの場合：XXXXXXXXXX ##61

フレックスチェンジの場合：XXXXXXXXXX ##7

32kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##3

64kPIAFS の場合：XXXXXXXXXX ##4

ただし、PTE経由で64kPIAFSの通信を行う場合は、次ページ8-Aを参照してください。



チェックをはずす

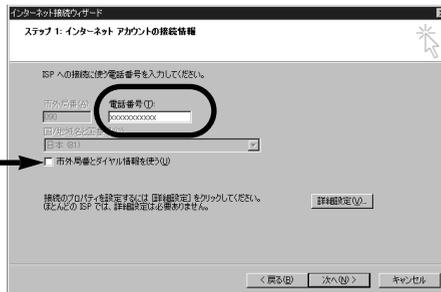


DDIポケットの電話機の場合、市外局番から設定した方が望ましいため「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックをはずして、電話番号の欄に市外局番から入力してください。

P33の9に続く

8-A PTE経由で64kPIAFS通信を行う場合は、接続先の電話番号を電話番号の欄に市外局番から入力してください。「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

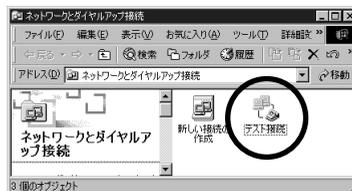
チェックをはずす



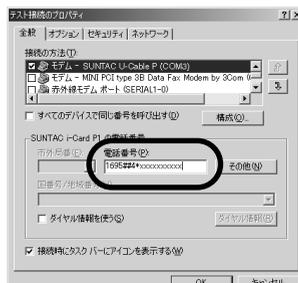
その後は、9～12の設定をマニュアルに従って行ってください。

ただし、P34の12の設定が終わった後、以下の設定を行ってください。

P34の12の設定が終わった後、できあがったアイコンをクリックし、「ファイル」-「プロパティ」をクリックしてプロパティを表示します。

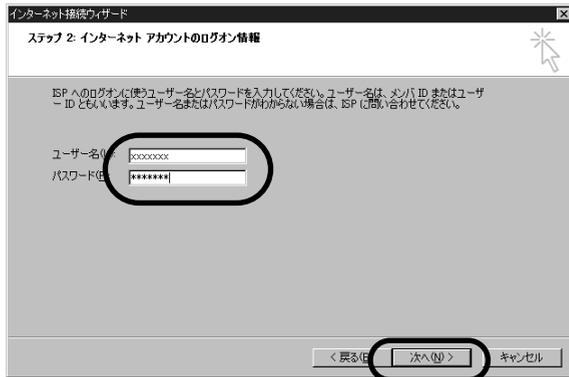


表示されたプロパティの電話番号の欄に入力されている電話番号の前に1695##4 * をつけ加え、1695##4 * XXXXXXXXXXXXに修正します。

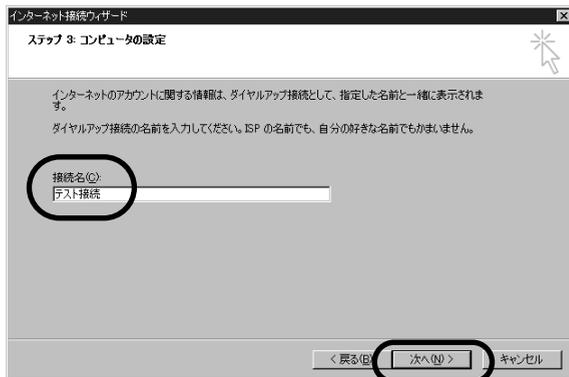


修正が終わったら「OK」を押してください。

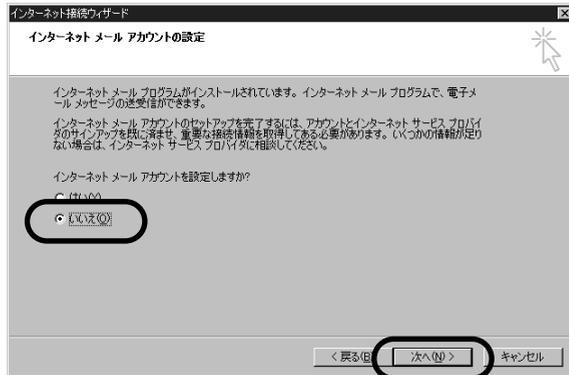
- 9 ユーザ名称、パスワードを入力し、「次へ」をクリックしてください。



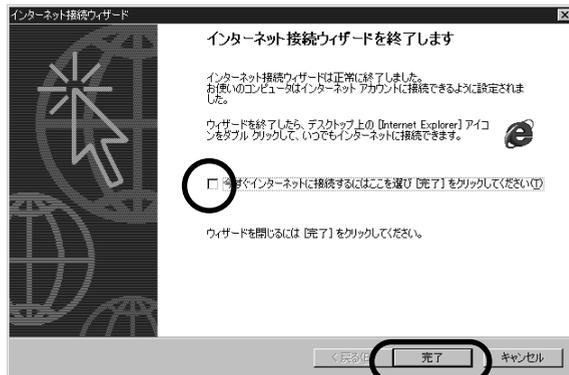
- 10 接続名を記入して、「次へ」をクリックしてください。接続名は契約プロバイダ名など判りやすいものが良いです。



- 10 「メールアカウント」を設定する必要がある場合、上記画面で「はい」をクリックした上で、「次へ」をクリックして、メールアカウントの設定を行ってください。本例では、メールアカウントの設定は省略します。



- 12 「今すぐ・・・」のチェックをはずした上で、「完了」をクリックして、ウィザードを終了します。



以上でダイヤルアップ接続の作成は完了です。

接続方法

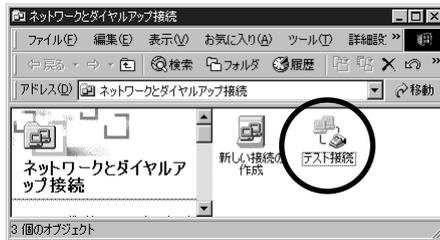
- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、データ通信モードになっていることを確認します。

Panasonic KX-HV200では、以下の様に設定します。



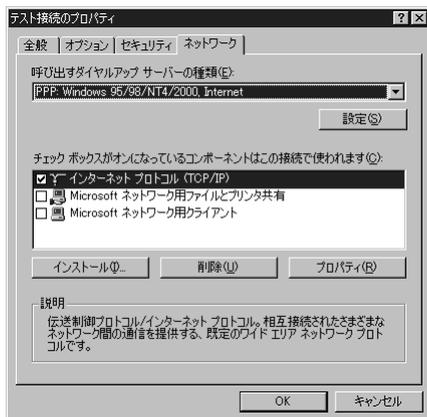
「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定値が「115200bps」であること。
データ通信設定が「OFF」になっていると、通信が出来ません。

- 2 ダイヤルアップ接続の作成で作成したアイコンをクリックし、「ファイル」 - 「プロパティ」をクリックして、プロパティを表示します。



- 3 プロパティの中で、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、「OK」をクリックしてプロパティを閉じてください。（一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。）

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。



- 4 プロパティの設定が完了したら、アイコンをダブルクリックして接続画面を表示してください。「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。

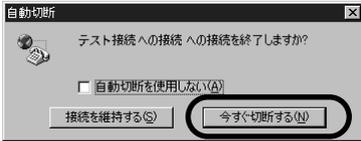


- 5 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は「今すぐ切断する」をクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して「切断」ボタンをクリックして切断することもできます。



重要 通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

Macintoshでインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。

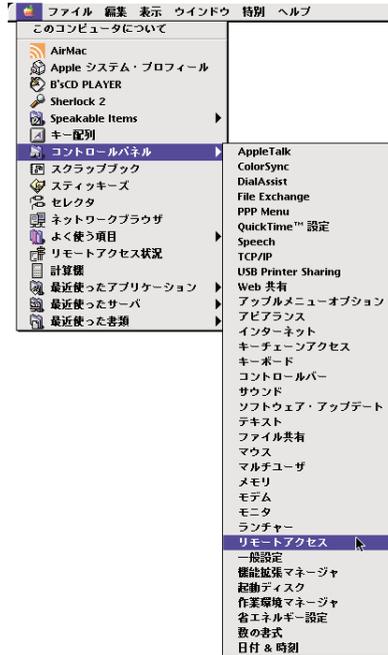
このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス。
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「名前」とも表現されています。）
- 5 パスワード

TCP/IPの設定

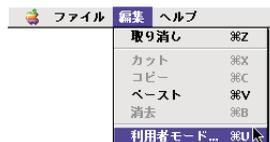
- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「リモートアクセス」を選択し、起動します。



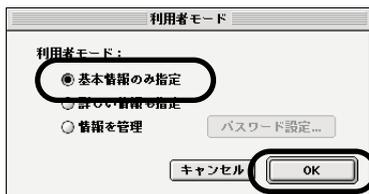
- 2 「リモートアクセス」メニューの「TCP/IP」を選択します。



- 3 「TCP/IP」が起動したら、「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。

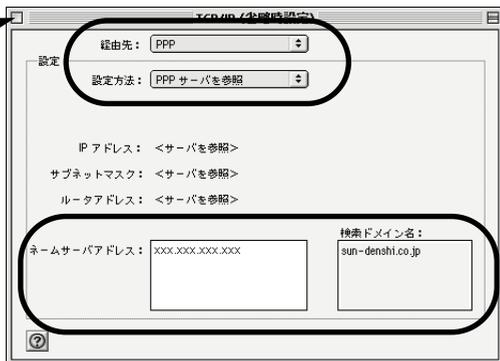


- 4 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」をクリックします。「利用者モード」が閉じます。

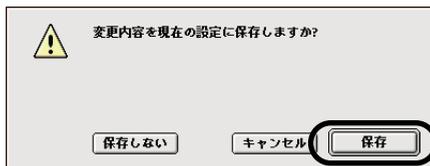


- 5 続いて、「TCP/IP」の設定をします。「経路先」メニューから「PPP」を選択し、「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。「ネームサーバアドレス」、「検索ドメイン名」を入力します。

閉じるには
ここをクリック。



- 6 上図の矢印の箇所をクリックすると、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という下記の画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「TCP/IP」が閉じます。



モデムの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「TCP/IP」の設定と同様に「リモートアクセス」メニューの「モデム」を選択します。
「モデム」の設定は、必ず本製品だけをUSBポートに接続した状態で行うようにしてください。



U-CableをUSBポートに接続していない状態で「モデム」を選択しても、「経由先」に本製品に該当する「U-Cable P」が表示されません。



- 2 「経由先」メニューから、本製品「U-Cable P」を選択し、「モデム」メニューから、「SUNTAC U- Cable P5 (H)」を選択します。
「ダイアル」は「トーン」を選択し、「ダイアルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外してください。

閉じるには
ここをクリック。



上図の矢印の箇所をクリックすると「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「モデム」が閉じます。

リモートアクセスの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「名前」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

名前 : プロバイダに接続する際の、接続アカウント（ユーザーID やアクセスID）を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

パスワード : プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。

電話番号 : 接続先プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れずに続けて入力します。

32kパケット の場合 : XXXXXXXXXXXX ##61
（「つなぎ放題コース」をご利用の方）

フレックスチェンジ の場合 : XXXXXXXXXXXX ##7
（「ネット25」をご利用の方）

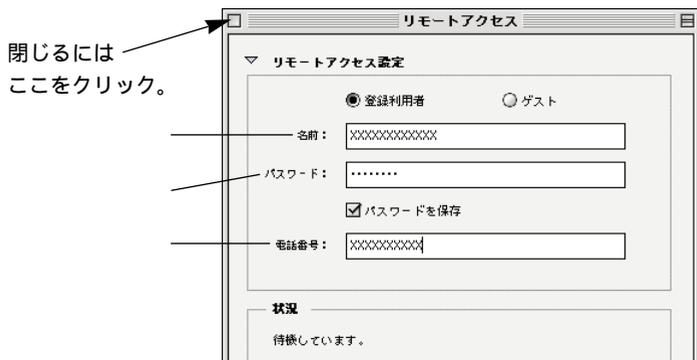
32kPIAFS の場合 : XXXXXXXXXXXX ##3

64kPIAFS の場合 : XXXXXXXXXXXX ##4

または XXXXXXXXXXXX

ただし、PTE 経由で64kPIAFS の通信を行う場合は、電話番号の頭に1695 ##4 *を加えてください。

1695 ##4 *XXX_XXX_XXXX





「パスワードを保存」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができるようになります。チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

- 2 入力が完了したら、「リモートアクセス」をいったん閉じます。
- 矢印の箇所をクリックすると（前頁参照）「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので「保存」ボタンをクリックします。「リモートアクセス」が閉じます。
- これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。

接続方法

- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、データ通信モードになっていることを確認します。

Panasonic KX- HV200 では、以下の様に設定します。



「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定値が「115200bps」であること。
データ通信設定が「OFF」になっていると、通信が出来ません。

- 2 先ほど設定した「リモートアクセス」を起動して、「接続」ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「リモートアクセス」をいったん終了し、U-Cable をMacintosh のUSB ポートに差し直してください。

再度「リモートアクセス」を起動し、「接続」ボタンをクリックしてください。

上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintosh を再起動してください。

切断

回線切断は、「接続を切る」ボタンをクリックします。
通信が終了し、リモートアクセスは待機状態にもどります。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

トラブル対処法

トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

Windowsでインストールできない場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されない場合はスタートボタン - コントロールパネル - システムと選択しデバイスマネージャータブをクリックします。

「その他のデバイス」の内に「U-Cable P」が表示されている場合は「U-Cable P」を選択して「削除」ボタンをクリックして一度削除します。その後「更新」ボタンをクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデム」の内に「U-Cable P」が表示されている場合はすでにインストールは完了していますので本製品をご使用いただける状態になっています。インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

Macintoshでインストールできない場合

添付ソフトウェアCD-ROM内の、USBドライバとCCLファイルが、正しいフォルダにコピーされているか、マニュアル「準備編」の「Macintoshの設定」を参照し、確認してください。

通信ポートが開けない又はU-Cable Pを確認できない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

機器を接続してドライバがインストールされているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器を接続するたびに機器が使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

通信時、電話機がダイヤルしない又はダイヤルした後すぐ切断される場合

機器が電話機と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

電話機のバッテリー残量が非常に少ない場合、通信できないことがあります。電話機を充電してから、あるいは充電しながら、ご使用ください。

電話機の「データ通信設定」が、U-Cable type P5と通信できる設定（115200bpsまたは115.2Kbps）になっているか、電話機の取扱説明書を参照して確認してください。

「データ通信設定」が「OFF」の場合は、「115200bps」に設定してください。（Panasonic KX-HV200の場合、「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」が「115200bps」に設定されていること。）

SUNTAC U-Cable type P1、type P3などがすでにインストールされていた場合

・ Windowsの場合

ご使用になるWindowsパソコンで、SUNTAC U-Cable type P1、type P3などがすでにインストールされていた場合、U-Cable type P5はパソコンには認識されませんが、ドライバの更新を行なわないとH”（AirH” 対応）端末と接続してデータ通信をすることが出来ません。

マニュアル「準備編」（本製品付属の本）の「すでにU-Cable type P1、P3をインストール済みの場合」を参照し、ドライバの更新を行なってください。

・ Macintoshの場合

CCLファイルが正しく設定されていない可能性があります。

マニュアル「準備編」（本製品付属の本）の「Macintoshの設定」を参照し、本製品用の正しいCCLファイル「SUNTAC U-Cable P5（H”）」がインストールされているか確認してください。

正しいCCLファイルがインストールされている場合は、リモートアクセスの「モデム」の設定で、「モデム」に「SUNTAC U-Cable P5（H”）」が選ばれているか確認してください。

その他のものが選ばれている場合は、マニュアル「通信編」（電子マニュアル）の「Macintoshでインターネットに接続する」を参照し、本製品用の正しいCCLファイル「SUNTAC U-Cable P5（H”）」を設定してください。

電話機のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、電話機の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回までに制限されています。3分以上してからもう一度かけなおしてください。

電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

(Windowsの場合、市外局番の入力欄は空欄とし、「国番号と市外局番を使う」や「ダイヤル情報を使う」などにチェックがしてある場合、チェックを外してください。)

電話番号の末尾に通信方式(##n)が正しく設定されているか確認してください。

接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

相手先が通信中(通話中)の場合があります。しばらくしてから再度かけ直してください。

データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください

ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。

電波状態が悪いため、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通話できることを確認してみてください。

64kPIAFSの通信だけができない

電話機が、64kPIAFSのデータ通信をU-Cable type P5で制御可能かどうか、確認してください。U-Cable type P5の制御に非対応の電話機では、PIAFSをご使用になれません。電話機の取扱説明書をご確認ください。

不明な場合は電話機メーカーまたはD D Iポケットにご相談ください。

機器の設定が「発信者番号通知する」になっていない可能性があります。

64kPIAFSでデータ通信を行う場合、電話機の設定を「発信者番号通知する」にしてください。

(Windowsの場合は、モデムのプロパティで[詳細]タブをクリックし、追加の初期化コマンドに「AT#A1(発信者番号通知する)」を設定することも対処できます。)

インターネットに接続できない場合

(電話はつながるが、認証などでエラーとなる場合)

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。

接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

電話番号の末尾に通信方式(##n)が正しく設定されているか確認してください。

市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。(Windowsの場合、市外局番の入力欄は空欄とし、「国番号と市外局番を使う」や「ダイヤル情報を使う」などにチェックがしてある場合、チェックを外してください。)

通信が安定しない

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。電話機の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。

電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。

接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

通信速度が低く感じる

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。

パソコンと機器との端末速度設定が低い場合があります。特にWindowsでダイヤルアップ接続を利用している場合は、[ダイヤルアップネットワーク]の設定の中で機器の端末速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。[コントロールパネル]からの通信速度設定は無効になりますのでご注意ください。

自動着信できない場合

Sレジスタ0の値が0に設定されていないことを確認してください。

0の場合は2などの値に変更してください。

Windowsで、詳細情報（モデムの照会）を行なうとエラーになる場合

電話機の「データ通信設定」が、U-Cable type P5と通信できる設定になっていない（データ通信設定：OFF）か、Windowsが詳細情報の確認（モデムの照会）を行なう際に用いる端末通信速度に電話機が対応していない（設定できないか、設定されていない）場合、エラーとなります。

（Panasonic KX-HV200の場合、「機能96：データ通信設定」の「データ通信ケーブル」の設定が「115200bps・57600bps」の二種類のみとなります。）

Windowsでは、OSによって詳細情報の確認（モデムの照会）を行なう端末通信速度が異なります。

電話機が、U-Cable type P5とデータ通信する際に設定することが可能なデータ通信速度（Panasonic KX-HV200では、115200bps・57600bps）以外では、Windows/パソコンとコマンドのやり取りは出来ません。

電話機のデータ通信設定で、以下の速度に設定不可能な場合は、詳細情報（モデムの照会）はエラーとなりますので、ご注意ください。

（下記のいずれかの速度に設定した場合、詳細情報（モデムの照会）の結果を得ることが出来ず。）

- ・ Windows98、Me、XP（Home edition）の場合：9600bps、2400bps
- ・ Windows2000、XP（Professional）の場合：115200bps

（電話機が、オートボーレート（端末速度自動認識）機能に対応しており、また電話機がその設定になっている場合は、エラーにはなりません。）

ご使用になる電話機で、U-Cable type P5とデータ通信する際に設定可能なデータ速度は電話機の取扱説明書でご確認ください。